



Windows XP へのドライバインストールについて

Windows XP オペレーティングシステムへ、Xpeed 411-C ドライバをインストール際は、以下の2点にご注意下さい。

1. インストールするドライバの選択

新しいハードウェアの検索ウィザードで、ドライバ CD を挿入しインストール方法の選択で「ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)」を選択すると図 の様に複数のドライバが表示されます。ISP より指定がある場合を除いて、一番上のドライバを選択し、「次へ」をクリックして、インストールを続行してください。(PPPoA 日本語ドライバがインストールされます)

図



ISP より指定がある場合は PPPoE ドライバ等)、複数のドライバが表示されている画面の場所欄を参考に選択して下さい。(例 PPPoE 日本語ドライバの場合 e.¥japanese¥PPPoE¥ x411cpoe.inf)

2.Windows ログテスト

「インストールを続行した場合、システムの動作が損なわれたり、システムが不安定になるなど、重大な障害を引き起こす要因となる可能性があります。」図 と表示されますが、動作確認は弊社でおこなっております。そのまま、[続行] をクリックして、インストールを続行してください。

図



現在弊社では、マイクロソフト社 Windows ログテストへ Xpeed 411-C ドライバの申請を行っております。Windows ログテストへ合格後、弊社ウェブサイト (http://www.xpeed.co.jp/05_support/download.html) にて新ドライバの配布を予定しております。

ドライバインストール済みのシステムをWindows XP へアップグレードする場合

Xpeed 411-C ドライバをインストール済みで、既にモデムをご利用になっているお客様がオペレーティングシステムを Windows XP へアップグレードされる場合、ドライバの再インストールを行ってください。ドライバの再インストールを行わない場合、ご使用環境によってはモデムを認識しなかったり、正常に動作しない場合があります。

手順は以下の通りです。

- ドライバの削除 (Windows XP へアップグレードする前に削除することを推奨)
- Windows XP へオペレーティングシステムをアップグレード
- ドライバの再インストール

ドライバの削除・インストールの手順については、ドライバ CD 内のマニュアル、もしくは弊社ウェブサイト (http://www.xpeed.co.jp/05_support/download.html) をご参照ください。